

令和7年度第3回さいたま市図書館協議会会議録

開催日時 令和8年3月23日（月） 10時00分～12時00分

開催場所 さいたま市立中央図書館 イベントルーム

出席者 (委員 ※敬称略)
蒲池庸子、廣澤美恵子、富田敏弘、平田潤子、石川敬史、宮田洋輔、川又理奈、
櫻井未央、関根公一、柏宏之
(事務局)
阿部中央図書館長、中島中央図書館副館長、内ヶ嶋管理課長、
大橋資料サービス課長、野村北浦和図書館長、杉田東浦和図書館長、
馬淵大宮図書館長、井澤大宮西部図書館長、阿久津春野図書館長、
溝上与野図書館長、玉木岩槻図書館長、石井桜図書館長、長谷川北図書館長、
村山武蔵浦和図書館長

欠席者 (委員 ※敬称略)
茂木千春、木和田美佐、神田剛広

公開・非公開の別 公開

傍聴人の数 0人

次第

令和7年度第3回さいたま市図書館協議会

日時：令和8年3月23日（月）10時00分～

会場：さいたま市立中央図書館 イベントルーム

次 第

1 開 会

2 議題及び報告事項

- (1) 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について
- (2) 第3期図書館ビジョン策定に向けた課題について

3 その他

4 閉 会

<配布資料>

- (1) さいたま市図書館協議会委員名簿 ……(資料No.1)
- (2) 令和7年度さいたま市図書館名簿 ……(資料No.2)
- (3) さいたま市図書館協議会 座席表 ……(資料No.3)
- (4) 次期図書館ビジョン策定に向けたキックオフ ……(資料No.4)
- (5) さいたま市図書館ビジョン（第2期）実施計画 後期 ……(参考資料)

<事前送付済み資料>

- (1) 令和7年度さいたま市図書館の利用に関するアンケート集計結果報告書
- (2) さいたま市図書館協議会通勤手当等申告書

1 開会

事務局から資料の確認を行った後、進行を石川委員長に委ねる。

本会議について公開とすることを確認後、傍聴希望者を確認。傍聴人0名。

2 議題及び報告事項

(1) 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について

資料案内専門部会長である桜図書館長から、事前配布資料を用いて説明を行った。

質問・意見・協議等

関根委員

電子書籍の利用が低いがもっと周知が必要ではないか。

座席について要望が多く出されている。自身は大宮図書館をよく利用しているが、よく工夫されている。各図書館で持っているノウハウを共有するなどして少しでも対策できると良い。

アンケートの回答者の若年層が少ない。致し方ない部分もあるが、若年層へのアプローチが全体的に弱いのではないか。

調査相談について、図書館であまりされていないようだ。図書館の本質的な機能の一つとして、調査とそれの深掘りがあると思うので、周知が必要だ。

桜図書館長

電子書籍の周知方法については研究したい。

座席について、各図書館でできるだけ増やす工夫はしているが、レイアウト変更など大掛かりな変更は難しい。今後も考えていく。

若年層のアンケート回答が少ない件については、試験勉強等で座席の利用が多いということもあるので、座席利用者とアンケートを繋げられるよう周知方法を検討していく。

調査相談については、最近はスマホ等で手っ取り早く調べてしまう方が多く、お声掛けいただくことが減っている部分がある。図書館では根拠のしっかりした資料を揃えて調べることを支援できることをPRしていきたい。

川又委員

職員の対応については委託職員を含んでいるのか。

来年度からアンケートをウェブで一本化することだが、図書館で偶然見かけて回答したという方の分回答が減ることが想定される。回答数を増やすための具体策はあるか。

桜図書館長

職員の対応については委託職員も含んでいる。

ウェブ回答を増やす取り組みについては、今年度はアンケートの二次元コードを印刷した葉状のものを配布した。その効果だけかは不明だが、昨年度よりウェブ回答が増えている。さらに効果的な方法がないか検討していく。

宮田委員

アンケートの回答数について図書館ごとに偏りがあるようだが、取り組みによる違いがあるのか。それとも純粋に入館者数によるものなのか。

口頭の報告では年代別の分析があり、若年層と全体とではかなり違いがあるとのことだが、報告書でも年代別でも出すと結果の深みが出たのではないか。

「さいたま市みんなのアプリ」からアンケートの回答を出すようなことができないか。

桜図書館長

アンケートの回答を呼び掛けている図書館もあるが、あくまで利用者の判断によってご回答いただいているので、偏りがあることは致し方ないと思う。

今回作成した集計結果の報告書では年代別の分析が見える形になっていないため、来年度のアンケートの実施にあたっては集計方法も改めて検討する。

「さいたま市みんなのアプリ」にもアンケート機能があるようなので、そちらの機能を使った方が効果があるかもしれない。来年度実施するにあたって、アプリの活用の方が効果があるかということも比較検討しながら進めていきたい。

櫻井委員

アンケートの結果として、さいたま市の図書館での結果や経年変化は分かったが、全国的に他の自治体と比べてどうなのかも入れてくれるとうれしい。

桜図書館長

他の自治体というと他の政令指定都市ということになるかもしれないが、結果の集計にあたってそのような視点を取り入れることも検討していきたい。

石川委員長

アンケート結果がいかに関書館サービスの改善に結びつけられるのか、最後のページに記載があるが、もっと具体的な記述がある方がわかりやすい。

アンケート結果を来館者や市民にフィードバックする必要がある。ホームページ上で公開したり、冊子を図書館に置いたりだけでなく、設問ごとに図書館報やSNSでこういう結果になりこう改善していきたいと考えている、というような発信が必要である。このアンケートが利用者や市民との相互関係性のいい契機になるのではないか。

量的な調査だけでなく、質的な調査も必要なのではないか。中高生や子供たちへアンケートが難しければ、インタビューなどで声を聴いてみてはどうか。

2 議題及び報告事項

(2) 第3期図書館ビジョン策定に向けた課題について

事務局より資料No.4を用いて説明を行った。説明後、中央図書館長は所用のため退席した。

各委員が考える図書館の課題を付箋に書き出し、机ごとに班に分かれて各図書館長を交えて議論を行いながら模造紙に貼り付け、最後に各班の議論の内容を全体で共有する流れでグループワークを行った。

質問・意見・協議等

櫻井委員

電子書籍のサービスが分かりにくい、使いにくい。

図書館の建物、設備が古い。

他の部署から図書館に異動して経験を積んだところで次の異動になってしまうことで人材不足が発生している。

子どもたちと図書館の関係で、幼児は保護者と一緒でないと図書館に来ることができない。中高生が勉強をしに来て座席を占領している。

川又委員

財政難ということになると、各図書館の特色を出すような形で、子どもが多い地域の館ではおはなし会を実施するが、子どもが少ない館ではやらないなどのメリハリが必要になるのではないか。また、図書館の再編も考えていかななくてはいけないのではないか。

人手不足という面では、若手の職員が図書館協議会の場で見ない。バリアフリーなどのニーズへの対応がボランティア任せになっている。

館によって考え方が違うという話も職員から聞いたが、特色を出すという中でも格差が出てきてしまう面もある。

電子書籍の周知は難しい。

さいたま市も変えようとしている面もあるが、保守的な面もある。

平田副委員長

図書館についての認知度がまだ少ないのではないか。インターネットなどから情報を仕入れるのとはまた違う図書館の良さについてわかってもらえると良い。宣伝・広報活動が必要である。お子さんたちにとって図書館は楽しい所だと思ってもらえることが大事である。

小さいお子さんをお持ちの方は図書館に来るのも大変である。また、障害者の方やお年寄りなど、来館が難しい方へのサービスの充実も大事である。

立地については、図書館が単独で建っているのではなくて、周りに公園など楽しい他の場所があると図書館に寄りやすいのではないか。

予算が削減されている中で蔵書を増やすのは難しいという問題もあるが、美術館などの同類の組織と一緒にイベントを開催するとか考えるのはどうか。また、地域文庫や個人で図書館をやっている方もいるので、それも蔵書の一つと考えるのも大事ではないか。

中央図書館副館長

委員の方の身近なところから貴重な意見をいただいた。施設が古い、場所により格差があるなど、図書館側で課題として認識している事について鋭く突いてきており耳が痛い。どのようにクリアしていくか改めて色々感じる部分があった。

また、図書館単体ではなく、いろいろな市の施設や民間との連携の必要性を身近な皆さんが感じている。ボランティアに任せきりにしないなど様々な視点で語っていただいたので、これからの図書館ビジョンの策定に参考になる内容の議論だったと感じている。

石川委員長

今回の議論の内容を持ち帰って、次回の図書館協議会ではビジョンの方向性の案出しや他自治体の事例紹介などを交えつつ協議していただく。

図書館ビジョンの実現には協議会だけでなく、実際に現場で働いている図書館の館長やスタッフの力も非常に大きいと思っている。職員の声も可能な範囲で聞いていただいてビジョンの方向性に反映できると良い。

3 その他

管理課長よりさいたま市図書館のネーミングライツの導入についての報告と、次回図書館協議会の日程についての連絡を行った。

質問・意見・協議等

石川委員長

議題2で事務局から説明のあった財政難という観点からの導入だと思う。すでに導入している自治体の課題と成果を洗い出してほしい。また、図書館としてはネーミングライツを得た会社が金銭面だけでなく、図書館の活動にどのように関わるのかという視点も条件に組み込めると良い。

4 閉会